



一般質問

■若者の流出防止策と雇用創出に繋がる市内産業育成について

経済界を中心とした取り組みを！

質問 ①市内事業者による雇用創出に繋がる取り組みとして、業種間連携に対して、経済界としてどのような取り組みや支援体制の枠組みを構築しているのか。②これまでの創業応援カレッジの創業実績と廃業など事業停止した事業者数の状況はどうか。③創業応援カレッジに関連した事業主の新たな雇用創出の現状と取り組みについては、どのような状況なのか。

答弁 ①商工会議所、商工会の各種部会で、一丁や地域資源を活用したセミナーや他地域との交流事業などを実施し経営力の強化に繋げている。今後、経済界として事業者間の連携や協業を進めていくことは、産業の活性化の育成対策の一つと考える。②平成30年11月末現在で1771件の相談で75件が創業しており、残念ながら2件が閉店した。創業した店舗には、近況確認や経営状況が悪いところへの専門家派遣などの支援を行っている。創業者には、二代三代と事業が繋がるよう頑張っていたきたい。③カレッジで創業した75事業者のうち、正社員が10人、パートが3人である。業界団体等への加入については、同業種の団体や地域の繋がりが大切なことから、加入や連携を促進している。今後も経済界において、自助と共助の体制強化をしつつ進めてほしい。

【その他の質問項目】
■商店街の現状について



山崎 智之 議員 (灘会)



創業支援の窓口 (産業振興課)

一般質問

■お祭り会館建設中の問題

祭り本番にも訪れるような仕掛けづくりを！

質問 ①お祭り会館となる和倉温泉観光会館は、昭和56年建設で約40年が経過し、耐震問題はどうか。もし強化をしようとするなら、事業費と工期についてどうなるのか。②お祭り会館を訪れて、再び祭り本番に訪れようと思わせる構想や仕掛けづくりはどうか。③さらに誘客拡大のために、青柏祭のなか山運行を見学できる仮設見学席を設けてはどうか。

答弁 ①和倉温泉観光会館は、平成27年度に耐震診断を行った結果、1階の一部に強度不足の箇所があったが、その部分を鉄骨で補強し、建物全体が耐震基準に適合することになる。耐震補強にかかる事業費は、5千万円余りで、工期は来年6月に着手し11月末ごろに工事完了予定である。②祭りの雰囲気や迫力などが伝わる見せ方など、本番の祭礼に行きたいと思わせる動機づけに繋がるものとして、でか山や石崎奉燈などの実物展示のほか、巨大スクリーンで映像を流して祭礼の再現をし、臨場感を高め、疑似体験できる仕掛けを計画している。③今年度、5月5日に御祇川大通りの泰平橋と長生橋に合計150席のパイプいすを並べ、無料観覧席を設置した。高齢者や家族連れの利用者が多くみられて好評だった。今後も多くの観光客が増えるよう、DMOと連携して取り組んでいく。



杉本 忠一 議員 (無会派)



青柏祭

一般質問

■観光危機管理の充実について

外国人旅行者にもきめ細やかな対応を！

質問 ①地域防災計画に観光旅行者に対する避難場所や避難経路などの計画が定められているのか。②災害情報の多言語化がされているのか。③災害関係情報の多言語メール配信システムなどは整備されているのか。④外国人観光客に対する避難場所の運営はできようになっているのか。⑤災害時に和倉温泉観光協会などと関係団体との協定はあるのか。

答弁 ①観光客に限った避難場所というものはないが、大規模災害時に交通が途絶する可能性があるため、観光客を帰宅困難者として対策を講ずることになっている。②避難場所の多言語標識について、今年度は一部英語表記を加え、今後順次対応していく。また、通訳ボランティアについては、災害時語学サポーターを育成する石川県国際交流協会に要請し外国人観光客のサポートを行う。③多言語メール配信システムなどのツールは持ち合わせていないが、市ホームページは多言語対応になっているため、災害情報などはホームページを活用いただきたい。④語学サポーターや通訳ボランティアの協力、翻訳機の導入などで対応していきたい。⑤旅行者者などとの協定は結んでいないが、和倉温泉旅館協同組合と災害時における宿泊施設等に関する協定を締結した。

【その他の質問項目】
■不登校対応
■七尾市の将来の消滅脱却を図る取り組み



伊藤 厚子 議員 (無会派)



外国語表記の看板